

令和4年度 第2回 サイエンス・ダイアログ プログラム（第1 学年対象）

今回は、東京農工大学大学院にて研究活動をされている Hafiza KHATUN 氏に体外胚生産に関する研究内容や、母国バングラデシュについてのお話などを伺いました。研究講義を英語で受講するのは初めての生徒が大半でしたが、講演後には、多くの生徒が積極的に質問をする姿が見られました。母国を離れ研究者として活躍されている方のお話を聞くことで、生徒たちが将来へのビジョンを描くきっかけとなり、また英語学習の動機づけとなればと思います。

実施日時：令和4年12月14日(水)

講師：Hafiza KHATUN 氏

